

2021年9月15日

報道関係者各位

(一社) 日本セルフケア推進協議会

「TEAM EXPO 2025」プログラムにおける「共創チャレンジ」に、一般社団法人日本セルフケア推進協議会(略称:JSPA)が提案する「いつでもどこでも、みんなでウェルビーイング」が登録されました

今般、「TEAM EXPO 2025」プログラム^{注1)}における「共創チャレンジ^{注2)}」に一般社団法人日本セルフケア推進協議会(略称:JSPA)が提案する「いつでもどこでも、みんなでウェルビーイング」が登録されましたのでお知らせ致します。また、合わせて「共創パートナー^{注3)}」には「一般社団法人日本セルフケア推進協議会」が登録されております。

JSPAは本活動により、生活者がウェルビーイング(身体的・精神的・社会的にイキイキとした状態)な毎日を送れるような、日常生活を少しワクワクできる新たな生活習慣を提案すると共に、大規模地震や気象災害、パンデミックなど日常に大きな影響や制約が掛かる状態においてもウェルビーイングを維持する方法を見出し、いつでもどこでもイキイキした毎日を送るコツを生活者のみなさまに広く発信して参ります。

さらに、この一連の取り組みを通じ、IoTやデジタルを活用し、人と人とのつながりの中でだれひとり取り残させないセルフケアの仕組みを検討し、平時のみならず、災害時や感染症拡大時にも対応できるあたらしい仕組みの構築を目指します。

尚、「いつでもどこでも、みんなでウェルビーイング」の登録内容の詳細は、3頁以降に添付させていただきますのでご参照を頂きます様、お願い申し上げます。

注1) TEAM EXPO 2025 プログラムは、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が2020年10月より開始。大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指す取り組みのこと。



詳細は以下のホームページをご確認ください。TEAM EXPO 2025 ホームページ：<https://team.expo2025.or.jp/>

注2) 「共創チャレンジ」とは、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のこと。

注3) 「共創パートナー」とは、TEAM EXPO 2025 プログラムに賛同し、自らが主体的かつ継続的に当プログラムに合った独自の活動を展開することで、多様な共創チャレンジの創出・支援を担う法人・団体のこと。

<本件について三輪代表理事のコメント>

生活者が自身の健康に関心を持ち、医師・歯科医師や薬剤師など医療専門職の伴走や革新的なデジタル技術による支援を受けながら健康に対する正しい理解を深め、疾病の発症予

防・重症化予防に留まらない多面的な健康づくりを目指した具体的な行動を習慣化することがセルフケアの本質です。これは、運動、睡眠、食事やセルフメディケーションなどあらゆる健康を目指す取り組みの前提となる概念であるのと同時に、それらすべてを含む大きな考え方です。

このセルフケアの実践をより確かなものにして、生活者の行動変容を支援していくためには、生活者1人1人の動機づけが不可欠です。それには、十人十色の幸福像を身体的・精神的・社会的の3つの視点から生活者自らが具体化して、それを「実現したい」と自分ごとにしていく必要があります。これこそウェルビーイング（身体的・精神的・社会的にイキイキとした状態）の考え方です。

今回、JSPA が共創チャレンジとして取り組む「いつでもどこでも、みんなでウェルビーイング」を通じ、セルフケアとウェルビーイングが融合した、生活者にとってさらに価値ある健康サービスは何なのかを模索・検討し、その提供を JSPA 会員と共に目指して参ります。

<本件に関するお問い合わせ>

(一社) 日本セルフケア推進協議会

広報部長 柳谷 祐樹

TEL : 03-6271-8941

E-mail : info@jspa-nsc.com

URL : <https://jspa-nsc.com/>

【共創チャレンジ】いつでもどこでも、みんなでウェルビーイング

法人

チーム名	一般社団法人日本セルフケア推進協議会 (JSPA)
共創メンバー	一般社団法人日本セルフケア推進協議会
主な活動地域	日本 / 東京
活動テーマ	科学技術、バイオテクノロジー / 健康・医療 (ライフサイエンス、ヘルスケア) / 感染症対策 / 食 / エンターテイメント / 地域活性化 / ものづくり、サービス / 生活用品、ファッション / コミュニティ・まちづくり、住まい / 防災・減災 / モビリティ、交通 / ロボット、AI / 働き方改革、健康経営、ワークライフバランス / Society5.0 / DX (デジタルトランスフォーメーション) / 大阪・関西万博の内容周知、テーマや意義の発信 /

私たちの共創チャレンジ

ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的にイキイキとした状態)な毎日を送れるような、日常生活を少しワクワクできる新たな生活習慣を提案します。

また、大規模地震や気象災害、パンデミックなど日常に大きな影響や制約が掛かる状態においてもウェルビーイングを維持する方法を発信し、いつでもどこでもイキイキした毎日を送るコツをみなさんにお伝えします。

未来への宣言

IoT、デジタルを活用し、人と人とのつながりの中でだれひとり取り残させないセルフケアの仕組みを検討し、災害時や感染症拡大時にも対応できるあたらしい仕組みを構築します！

きっかけ

日本セルフケア推進協議会 (JSPA) は医薬品メーカー、薬局・ドラッグストア、医師、薬剤師、民間保険会社、スタートアップ企業、自治体、税理士、有識者等の方々にご参加いただき、「日本型セルフケア^{注4)}」を推進するために「健康サイクル^{注5)}」を効果的に回す方策を検討し、国民の健康寿命延伸に貢献する健康活動を行っています。

健康に楽しくイキイキしたウェルビーイングな毎日を送れるように手助けできる仕組みや工夫を構築し、世界中の皆さんが人生 100 年時代をたのしみに迎えることができるようにしたいと考えています。

取組の展開

今後展開したい地域・方法 関東、関西、東海地方を中心とした日本全国やアジア太平洋地域に展開していきたいと考えています。

共創を希望する方々 セルフケアや生活者がよりよい環境で生活できるサステイナブルな仕組みの構築に興味がある自治体、企業、団体などを希望しています。

大阪・関西万博のテーマとの関わり

ウェルビーイングな毎日を送ることができる仕組みを構築することで”いのち輝く未来社会のデザイン”に繋がると考えています。

SDGs との関わり



本チャレンジで構築を目指す誰一人取り残さないセルフケアのあたらしい仕組みは、人と人とのつながりを大切にし、地域全体で取り組むことを目標にしているため目標 3、9、11 に寄与できると考えています。

注4) 日本型セルフケア

これまで日本では、世界に冠たる国民皆保険制度を基盤に生活者の健康寿命延伸を実現してきたが、少子高齢化・人口減少の時代を迎える中であっても、生活者の利便性や満足度を維持または高めるために、生活者が自身の健康に関心を持ち、医師・歯科医師や薬剤師など医療専門職の伴走や革新的なデジタル技術による支援を受けながら健康に対する正しい理解を深め、疾病の発症予防・重症化予防に留まらない多面的な健康づくりを目指した具体的な行動を習慣化することで、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的にイキイキとした状態）を実現する仕組み。

注5) 健康サイクル

生活者が自らの健康実現のために自身のニーズや状態・症状に合わせ、①医療・介護等のサービス、②かかりつけ薬剤師を中心とした健康サポート、③生活者が自ら取り組む予防・健康づくりへ過不足なくアクセスし、状況変化に応じて最適な選択肢へと遷移することで、生活者を中心にそこに関わるすべての関係者と社会を健康にする仕組み。